

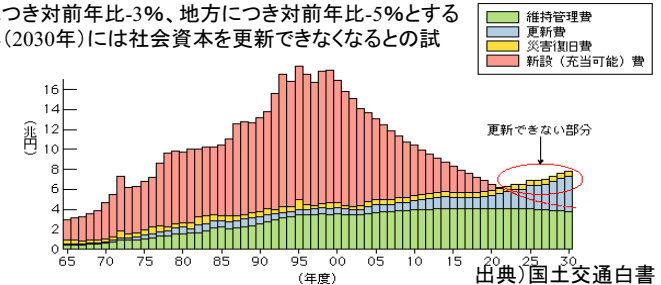
人口減少地域における地域・社会資本マネジメントに関する研究

背景

- ・自治体の財務状況の悪化
- ・止まらぬ人口減少、少子高齢化
- ・社会資本ストックの維持管理費の増加

・これらは、特に旧産炭地域で顕著
・地域によっては、集落自体が消滅する事例もある

例えば、平成17年度(2005年度)以降の投資可能総額の伸びを、国につき対前年比-3%、地方につき対前年比-5%とすると、平成42年(2030年)には社会資本を更新できなくなるとの試算もある。



人口減少地域の集落及び社会資本ストックの適切なマネジメントを実施することが求められている

課題

- ・施設の規格変更、管理のサービス水準の適切化
 - ・施設の再編
 - ・地域住民による管理移管
 - ・地域住民に対する合意形成
- 等

【研究内容】

(1) わが国における実態調査

- ・地方自治体へのヒアリング
- ・行政裁判の判例収集
- ・わが国における既往制度の整理 等

(2) 先進事例の把握(国内/海外)

- ・社会資本ストックの再編に関する先進事例の調査

(3) 人口減少地域の集落及び社会資本ストックの適切なマネジメントの手法について検討

- ・維持管理経費の節減額の試算、住民の居住地選好モデルの検討
- ・マネジメントの枠組みについての検討

地方自治体等において、人口減少地域の集落及び社会資本ストックの適切なマネジメントのモデルを提示